酔夢

いつも夢に見る……
……もう
長いこと
夢に
見続けている……
占っておくれ
あの人は
誰だろうか？
告げておくれ
いつか
その人に
会えるだろうか？
―
会えるだろう
そのとき
―その人は
わたしを見て
くれるだろうか？
―
あなたを
知らない
だろう
―
それから
わたしの心に
気づいてくれる
だろうか？

心を告げるいとまもなく
あなたはその人の足もとで
——うつぶせて死ぬだろう
いいやあなた
いつもそうだよ——ごらん
——ごらん
——ごらん

いつもそうだ
いつも…
……同じこと
いつも
同じことと…
…いつも

木星衛星――イオまで来るとはね
ようこそ！ガデン・サファーシュ博士 こんなにお若い方だとは
一年間よろしく
イオ研究所は総勢六十名のファミリーですワ おらくにネ

——レム・
パルミーノ？
あなたが？

お　きみたちは
知りあいか？

……

いや
オレは月生まれの
火星育ちだもの

純地球産に
知りあいはいないよ

……こんなに
お若い
博士とは

あいつだ

あいつだ

いつも
見る
夢の中の
——

……ええ…まあ
研究所
ファミリーは
全員が知ってる
ことですが
彼の表現体は
メイルですが
染色体は
XXです

システムIII
経度九十

磁力線を切ります
デカメータ波発生
博士
ベランダから
最高のオーロラが
見られますよ

パルミーノ博士
おじゃまじゃ
ありませんか?
あんたか
どうぞ

イオで四年暮らして
あきないのは
このせいだよな
こんなの
見たこと
あるかい
見事ですね

見事な
静電気だな
あんたも

わたしの郷では
長子は断髪を
禁じられてるのです
霊力を得るために
は?
学者だろ
あんた
同時に郷では
神官です

わたしは
あなたを
知ってます
レム
なん度も
あなたに
会ってます

わたしの夢の中で
へ…？
で…？
あなたも見るのでしょう
わたしを知っていたから

それはいつも類型の夢です
わたしの足もとで少女が死んでいる
うつぶせて——
あなたと同じ顔の

レム
それは　夢ではなく
わたしの中に織りこまれた
過去の記憶なのです
いつも我われは生まれかわっては
同じ出来事をくりかえしている……

くりかえしてる？じゃまた　起こるってのか？
ばかばかしい！
そいつもお郷のなんとやらか？
は
だとしても
うつぶせて死ぬ者はここにはいないぜ！
所長から聞いたろ？

オレは出来そこないのヘルマプロディトスだもの
少女ではありえないだろ？
ハハハア
…そう
望みたいものです

はん！
じょーだん！
くたばってたまるかい！

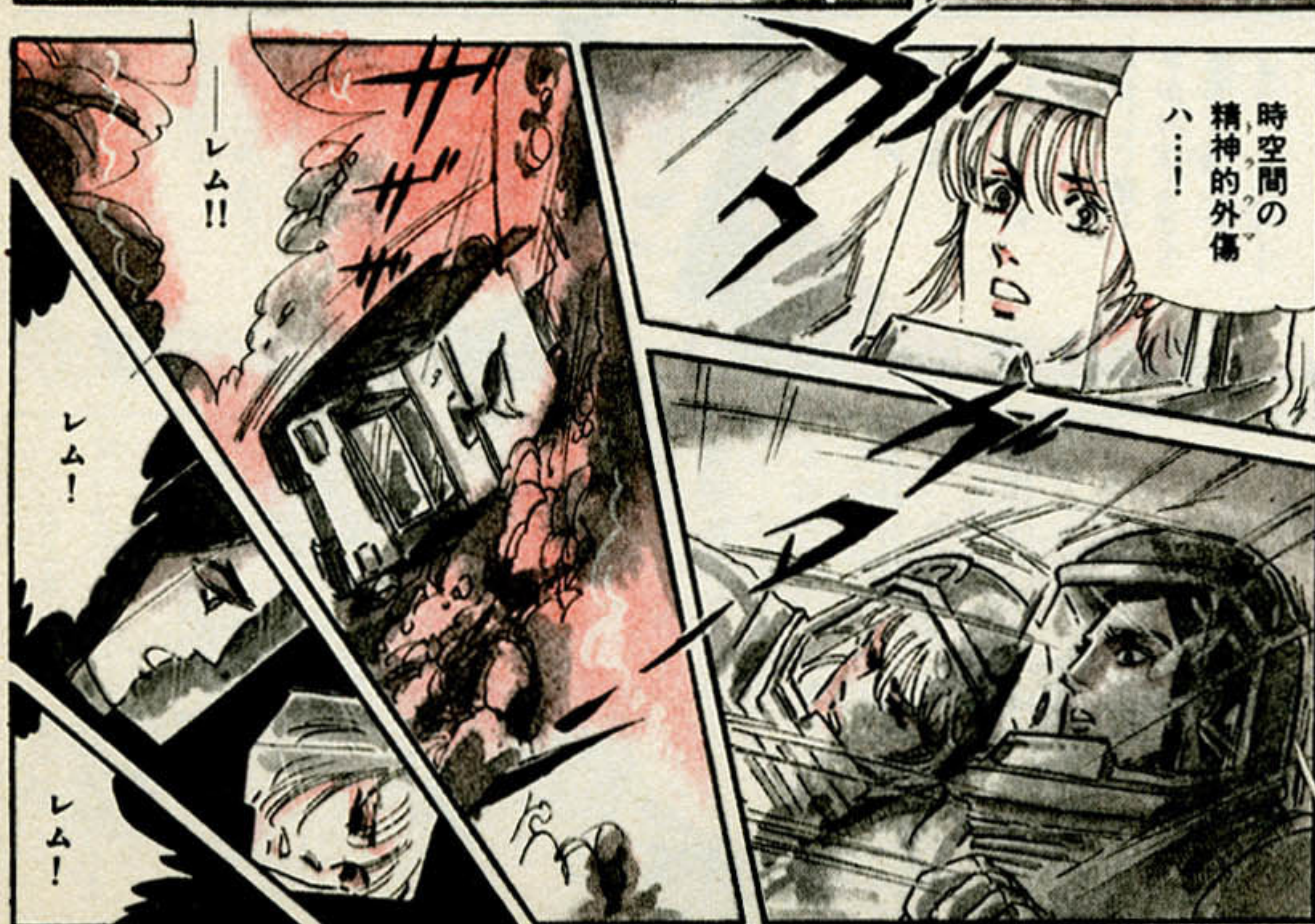
時空間の精神的外傷ハ…!

ガガガ

——レム!!

ザザザ

レム!

レム!

…火山活動が
続いている
こんどのは
でかそうですよ
なに
いざとなれば
研究所ごと
宇宙へ脱出
できますからね
レムは？
もう
だいじょうぶ
コブひとつだから
ガデン
あんたのいう
くりかえしは
コピーが
ずれたんじゃ
ないか？
オレは
死ななかった
みたいだし
ええ――
そうかも
しれません
あなたは
おもしろいことを
いいましたねえ
時空間の
精神的外傷と…
…だとしたら
誰かがこの傷を
治癒しようと
しているとも…
仮定できる
あなたの
表現体を
メイルに
変えてみたり
……
わたしに夢を
さかのぼらせて
原因を探らせ
ようとしたり…
じゃなにか
オレは……
精神を病んだ
時空間の
産物か
へえ…
わたしは
この変革には
感謝したい
あなたが
フィメイルの
表現体をしていたら
――すでに足もとで
うつぶせていたかも
しれなかったから――
へん
――
少女だった
ら――か！